

輝け！シン尾花沢中

伸びよとさそう 常若の ああ尾花沢中学校

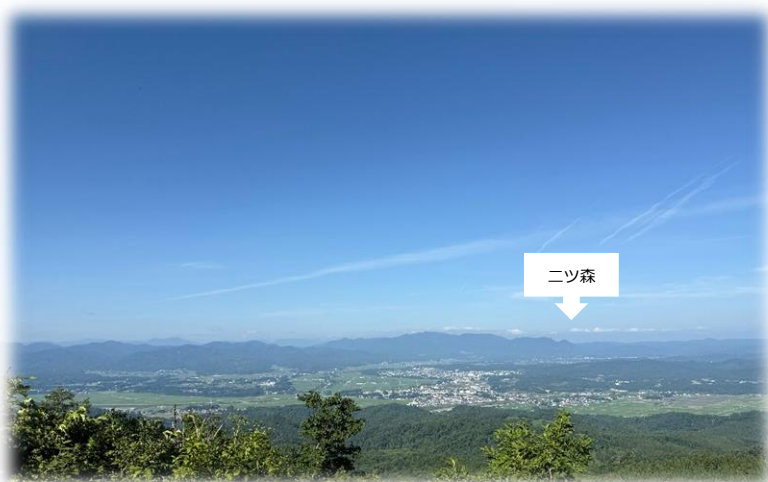
タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん一歩を踏み出さなければ、頂^{いただき}にはたどりつけない

私事で恐縮ですが、7月13日（日）に、大高根山でトレイルランニングに行ってきました。これは、市の部活動地域以降コーディネーターを務める伊藤一志さんから誘われ、1年越しでやっと実現したものです。

急勾配にはロープが設置されていたり、湿地部分には丸太の足場が埋め込まれていたり、休憩所にベンチが設置されていたり、花の名前がプレートになって紹介されていたり…と、非常に整備されたコースでした。

さて、私は、急勾配の登りのきつさに走り続けることができず早々に歩き始めました。途中で歩くことさえきつくなり、両手を膝について息を整えたのち歩き始める、この繰り返しです。私が遅れてしまうため、伊藤さんは所々で私をさりげなく待っていてくださいました。

伊藤さんのサポートのおかげで、何とか八森山山頂（標高511m）にたどり着くことができました。山頂からの眺めは、天気が非常に良かったこともあり、尾花沢市から東根市までの村山盆地を一望することができました。その後、上り下りを経て大高根山山頂（標高542.9m）にもたどり着きました。距離3.40km、標高差311m、歩数6517歩、あっという間の1時間22分でした。



初めての太高根山トレイルランニングでは、登りできなくなったときに一歩前に踏み出すことすらきつくなる場面が何度もありました。しかし、一歩を踏み出さなければ、山頂にたどり着くことはできません。帰ることもできません。不思議なことに一歩を踏み出すと次の一歩が自然に出てきました。

これは人生と同じなのではないでしょうか。自身の夢や志を実現したければ、まず一歩を踏み出す。すると、次の一歩もおのずと出てくる。一歩ずつの積み重ねしか、夢や志にたどり着く手段はない。また、一歩一歩を支えてくださる方は必ずいる。頼るところは頼り感謝の念を伝えながら、自身の夢や志の実現に近づいていく。

「一歩を踏み出さなければ、頂^{いただき}にはたどり着けない」

伊藤さんのおかげで、学び多き充実した休日となりました。

【文責：校長 工藤雅史】

